

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

小美玉市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	2014年（平成26年）に全国初の「乳製品で乾杯を推進する条例」を制定、さらに2018年（平成30年）からは市内在住・在勤等の小美玉市にゆかりのある夫婦が結婚式でヨーグルトで乾杯をすると、市がそのヨーグルトを提供する事業が始まりました。	2
2	小美玉市の花に制定されている花は「コスモス」。コスモスは、市内各地に植えられ、たおれても起き上がる姿は力強く清楚で語源（cosmos 宇宙、世界、調和）から小美玉市の平和な発展を願うにふさわしい花です。	4
3	百里原海軍航空隊は、昭和13年、筑波海軍飛行隊（笠間市）の分遣隊として開隊され、翌年独立部隊となりました。はじめは、練習部隊でしたが、戦況が悪化する昭和19年以降は実戦部隊となりました。	2
4	小美玉市の木に制定されている木は「ケヤキ」です。ケヤキは、大地にしっかりと根を張り、放射状に大きく枝を張る姿は雄大で、力強く空に向かって成長していく姿は、将来へ向け伸びゆく小美玉市にふさわしい木です。	1
5	霞ヶ浦沿岸の豊かな自然の中に整備を進めてきた「大井戸湖岸公園」が完成しました。公園内には、メインの芝生広場・遊歩道・トイレ・四阿（あずまや）・水飲み場・駐車場・駐輪場が整備されています。	3
6	鶏卵の生産量日本一の茨城県の中でも、小美玉市は1番の生産量を誇っています。	4
7	『常陸国風土記』に登場する井戸で、玉井（玉ノ井）（たまい・たまのい）と言います。倭武天皇（ヤマトタケルノスメラミコト）が掘らせ、「よくたまれる水かな」と褒め称えたことがもとになり、田餘（たまり）と呼ぶようになったと伝えられています。	2
8	素鷲神社（そがじんじゃ）は享禄2年（1529年）に建てられた小川地区にある神社です。御祭神を墨絵で描いた特別な御朱印、「祭神画御朱印」を頒布しています。	3
9	小美玉市と姉妹都市であるアビリン市は、アメリカのカンザス州ディッキンソン郡の郡庁所在地です。人口約7,000人。小麦の生産をはじめとした農業が産業の中心となっていますが、最近機械生産などの工業も伸びてきています。	2
10	やすらぎの里小川は、広々とした敷地に5棟の建物があり研修会など広く市民に活用されています。また、近代医学の先駆者で、江戸末期に小川で生まれた本間玄琢の生家が敷地内に移築されています。	3
11	2012年（平成24年）3月2日、旧小美玉市老人いこいの家小川温泉寿荘が「小美玉温泉ことぶき」として新しく生まれ変わりました。日帰り入浴施設として大浴場と露天風呂があり、貸しタオル（有料）もあるので、手ぶらで入浴できることも魅力の一つです。	1
12	2008年（平成20年）に制定された小美玉市市民憲章の第1項は、「自然を愛し、豊かな水と緑ときれいな空気を守ります」と定められています。	4
13	鹿嶋神社の敷地内にある大杉です。樹の高さは約40メートルあります。	4
14	旧小松家住宅は、江戸時代中期の上層農家の住まいで、土間部分と馬小屋が直角に曲がる「曲がり家」と呼ばれる民家です。	2
15	「宮田防災公園」は芝生広場・遊歩道などが整備され、災害時にも活用できるトイレ・あずまや・かまどベンチが設置されています。また、散歩やジョギング等の軽運動・休憩の場やイベントなどにご利用いただくことも可能です。	3
16	市内循環バスは、左回りが「白色」、右回りが「緑色」で運行しています。	1
17	市内の霞ヶ浦湖畔から見る、筑波山に夕日が落ちる美しくも神秘的な光景は「ダイヤモンド筑波」と呼ばれています。	4
18	小美玉市にはホールを備えた施設が3館ありますが、もっとも大きなホールは小川文化センターアピオスにあり、収容人数は1,200名です。	2
19	小川、下吉影河岸の薪問屋が扱う薪「サクラマキ」の名前で、江戸の人々に重宝がられた。	3
20	昔、殿様が馬で梶無川（かじなしがわ）までくると、馬のしっぽを引っ張るカッパに気づき、刀で手を切り離し持ち帰りました。その夜にカッパが現れて、泣きながら手接（てつぎ）の妙薬を教えるので、手を返してくれと懇願され手を返してあげました。その後しばらくしてカッパは死んでしまい、哀れに思った殿様は、手厚くカッパを弔った場所が「手接神社」（てつぎじんじゃ）です。今でもカッパの手形に手を合わせると、手の病気が治る神社として親しまれています。	1
21	園部川を望む台地にある「羽黒古墳」は、67メートルの前方後円墳です。出土する壺形埴輪や器台形埴輪から4世紀後半頃に造られたと考えられています。	2
22	答えは、3月27日です。「おみたん」は、仔牛（子供たち・農）と飛行機（空）をモチーフにしたキャラクターである。キャラクターになったことを記念し、特別市民として「小美玉市特別住民票」を交付された。	4
23	滝平 二郎（たきだいら じろう）氏は、1921年（大正10年）新治郡玉里村（現在の小美玉市）で生まれました。滝平二郎は、日本の切り絵、版画作家で力強さ、優しさ、時には怖さを表現した作風で知られています。「モチモチの木」「花さき山」などの挿絵を制作しました。	1
24	小美玉市に隣接している市町は、石岡市・行方市・銚田市・笠間市・茨城町の5市町になります。	3
25	毎週木曜日に移動図書館「ふれあい号」を運行しています。	4